

血液由来の血餅を用いた健康影響評価法

免疫学・寄生虫学 吉田安宏

利用分野

PM2.5や化学物質をはじめとする環境汚染物質や放射線被曝などの健康影響評価で用いられる検査法である。血餅は、血清調整時に沈殿する凝固成分なので、容易に収集できるサンプルである。血清に加えて、あらたな健康情報を得ることができる。

シーズ

本検査法は、血液から血餅を分離回収する分離工程と、分離した血餅と細胞溶解液の混合液を調整する混合工程からなる。混合液に含まれる血液由来成分は、ウエスタンブロット法などにより評価することができる。血餅中のタンパク質やエンドソームなどを評価する手法は、これまでに確立していなかった。



ニーズ

健康影響を評価するための生化学検査では、液性因子である血清を用いる検査法が一般的である。血清調整時に生じる血餅は、残渣として廃棄されてきた。一方、血餅は赤血球や白血球、フィブリンなどから構成されており、血清のみでは得られない重要な情報が含まれていることが期待される。

連携分野

血液などの体液成分を検体とし、各種成分の測定技術を保有する臨床検査機器メーカー等との連携による事業化。



知財保護

特願2021-041239



血清：
液性成分
(水・タンパク質など)

血餅：
細胞成分・凝固因子

廃棄される血餅にも重要な情報がある。但し、その情報を取り出すことが難しかった。



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp